

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2025年6月5日

大津市長 殿

提出者

住所 大阪市西淀川区大和田1-2-7

氏名 小倉商事株式会社

代表取締役 小倉清和

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06-6472-4561

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

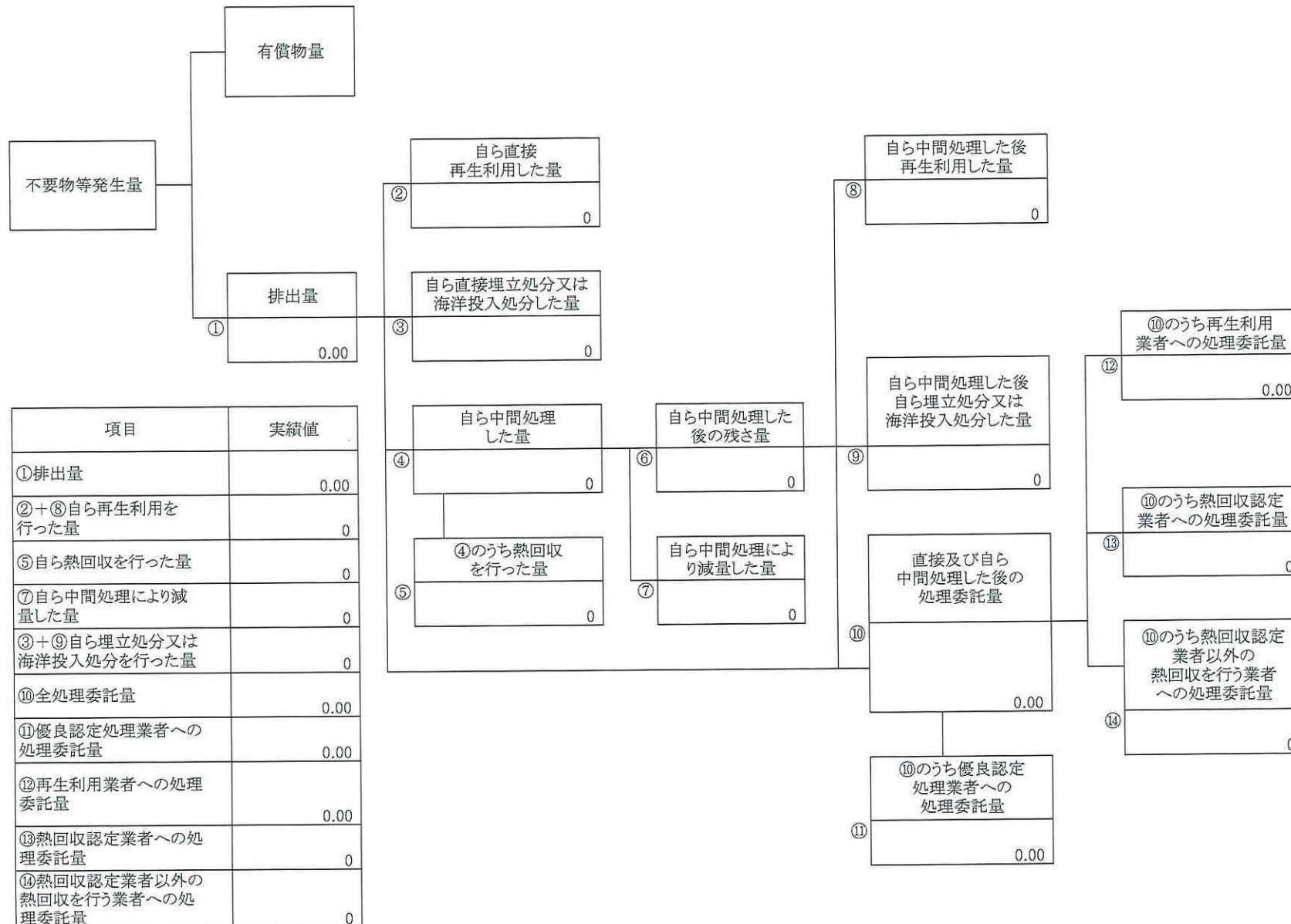
事業場の名称	小倉商事株式会社(大津市内作業所)
事業場の所在地	大津市管轄区域内
事業の種類	06 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	430t	全処理委託量	430t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	優良認定処理業者への処理委託量	430t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への処理委託量	430t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者への処理委託量	0t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t
※事務処理欄			

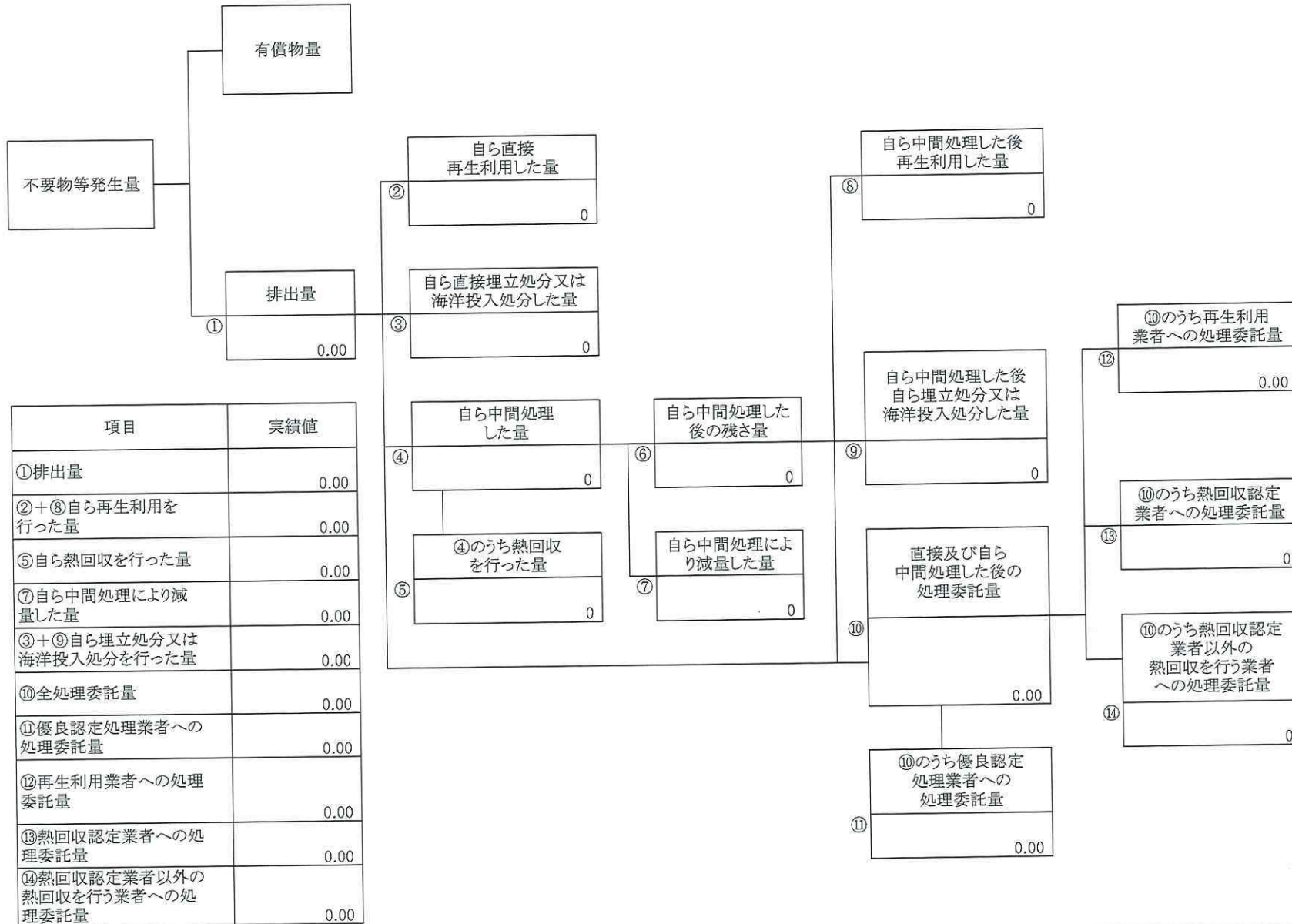
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)



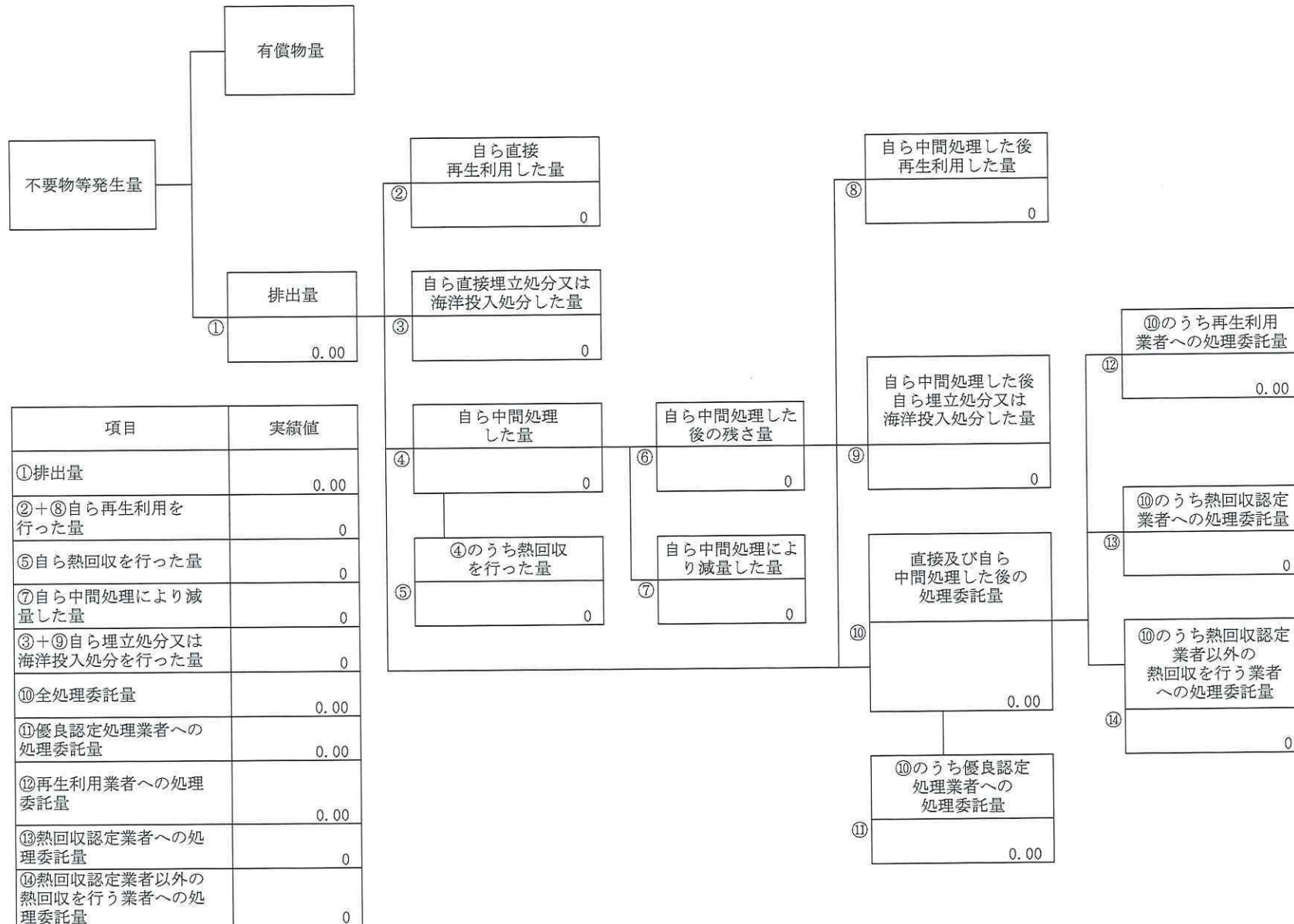
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 繊維くず)



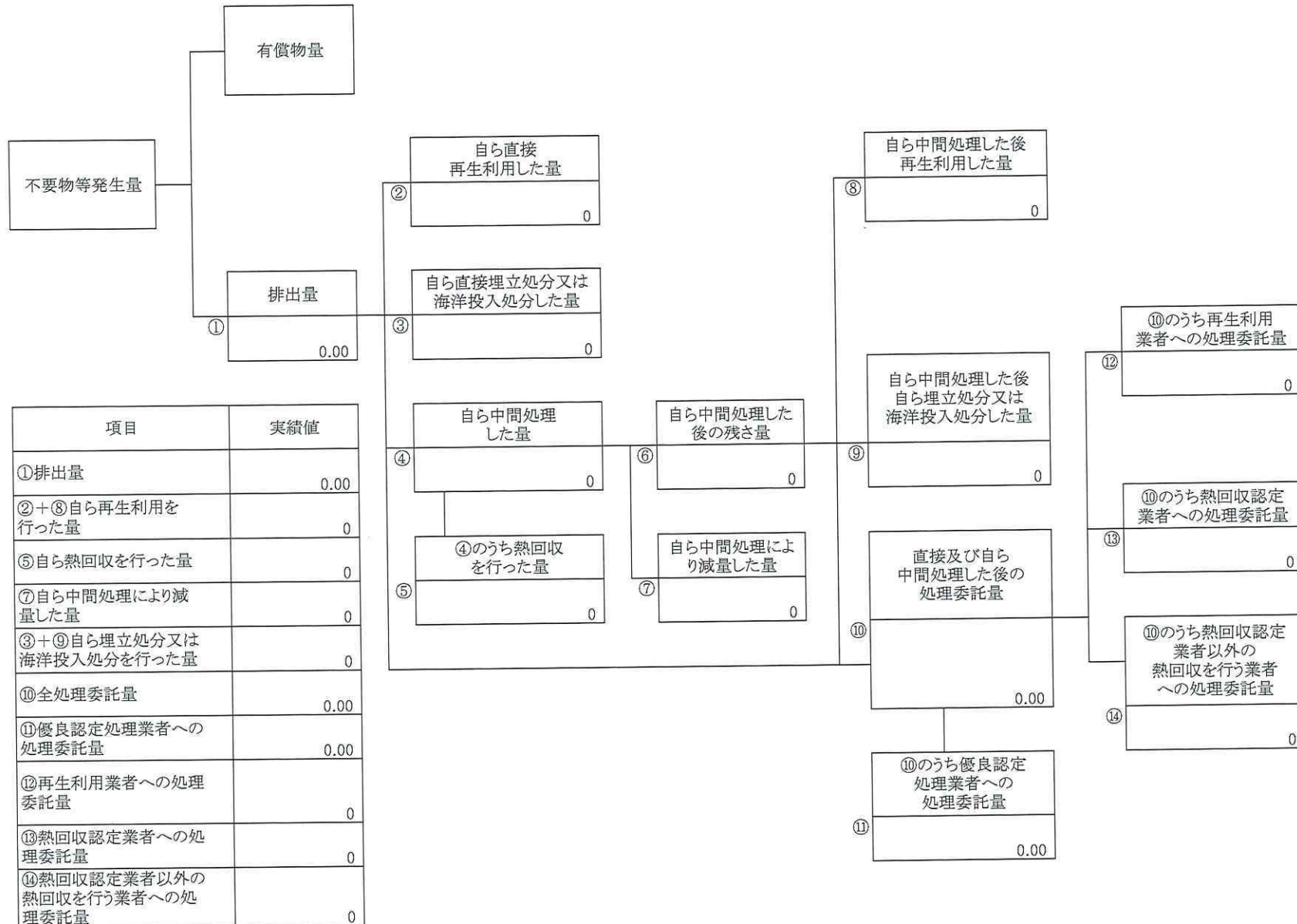
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: コンクリートがら)



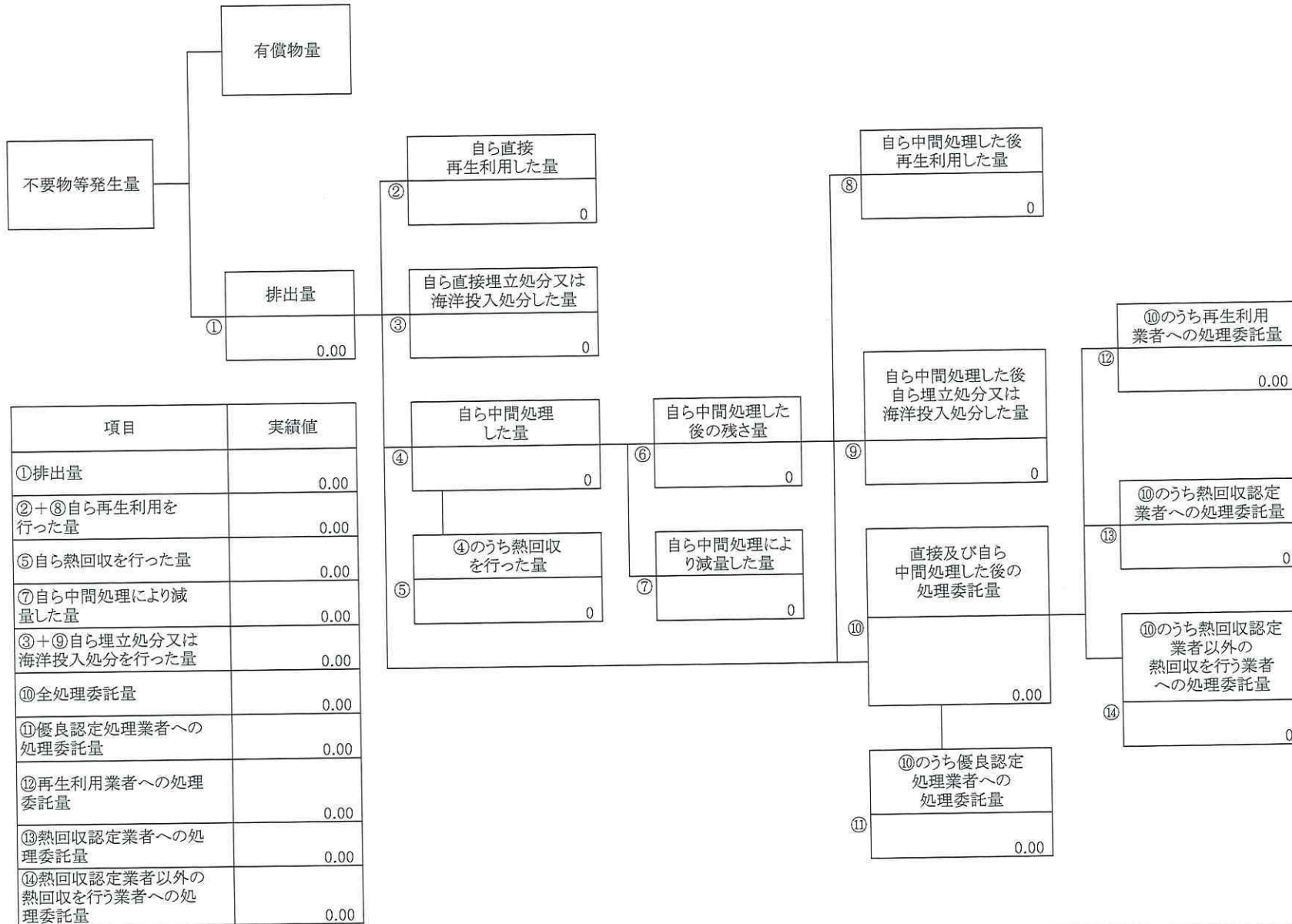
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: アスファルトコンクリートがら)



計画の実施状況

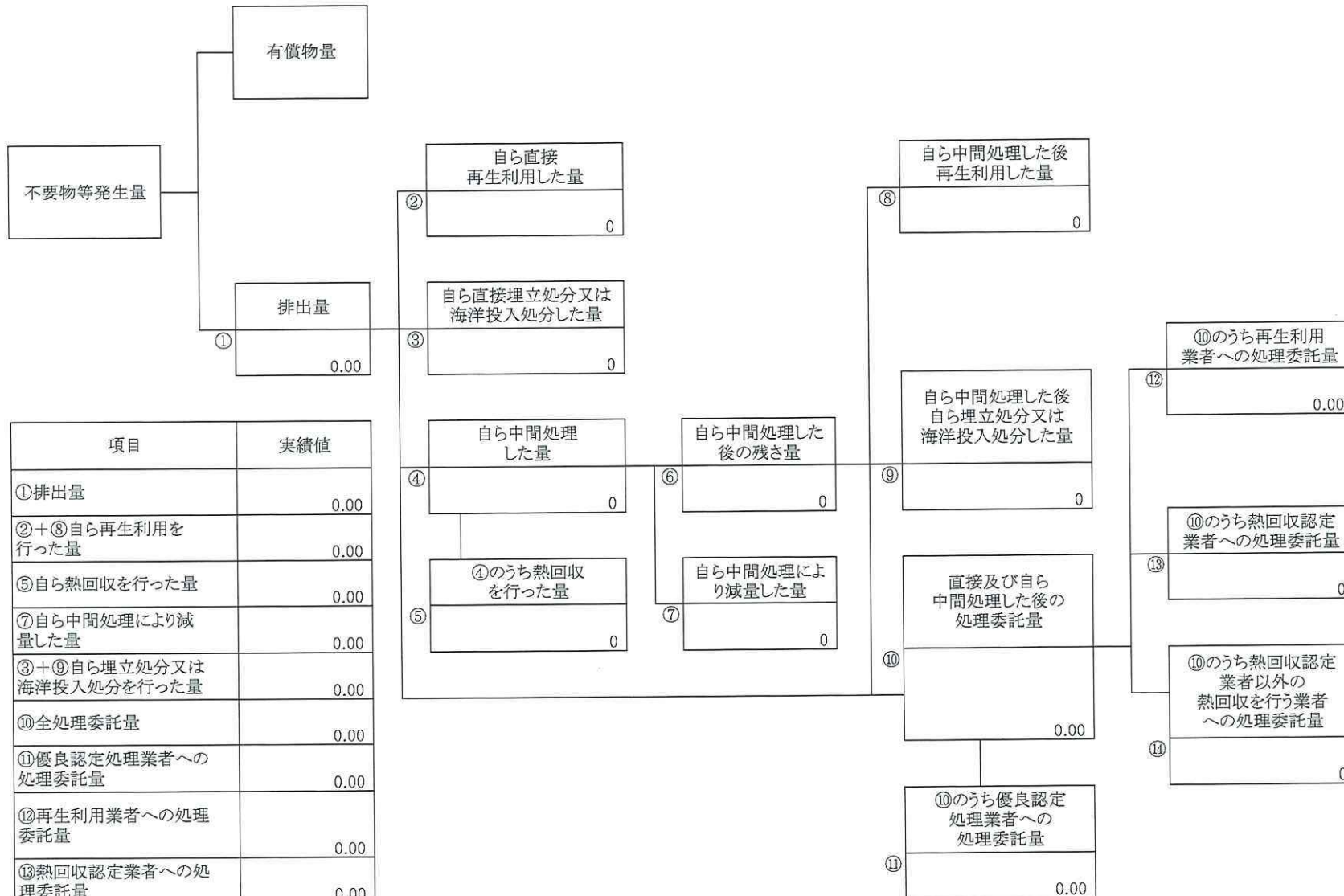
(産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物(管理型含む))



計画の実施状況

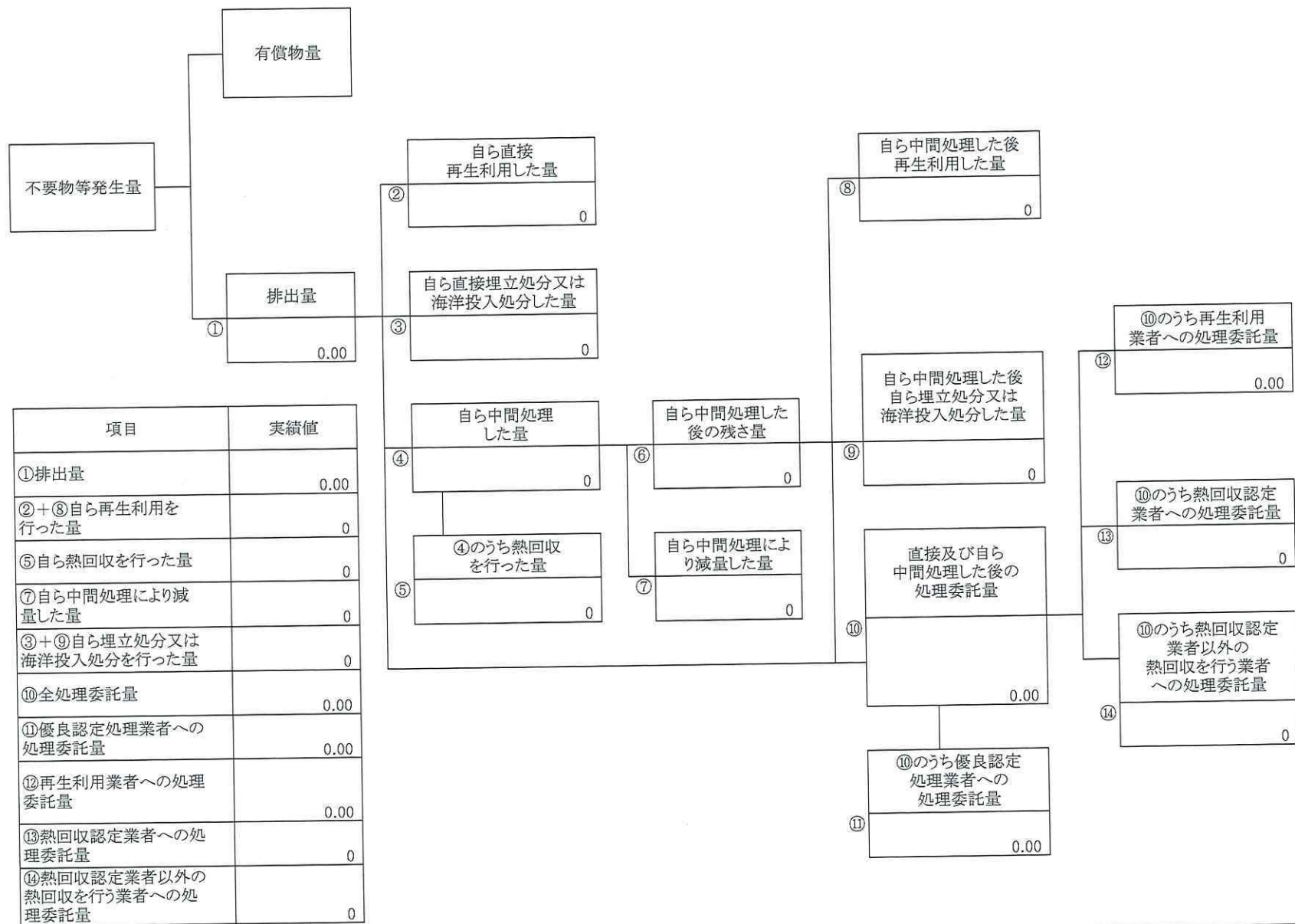
(産業廃棄物の種類: がれき類(石綿含有))

)

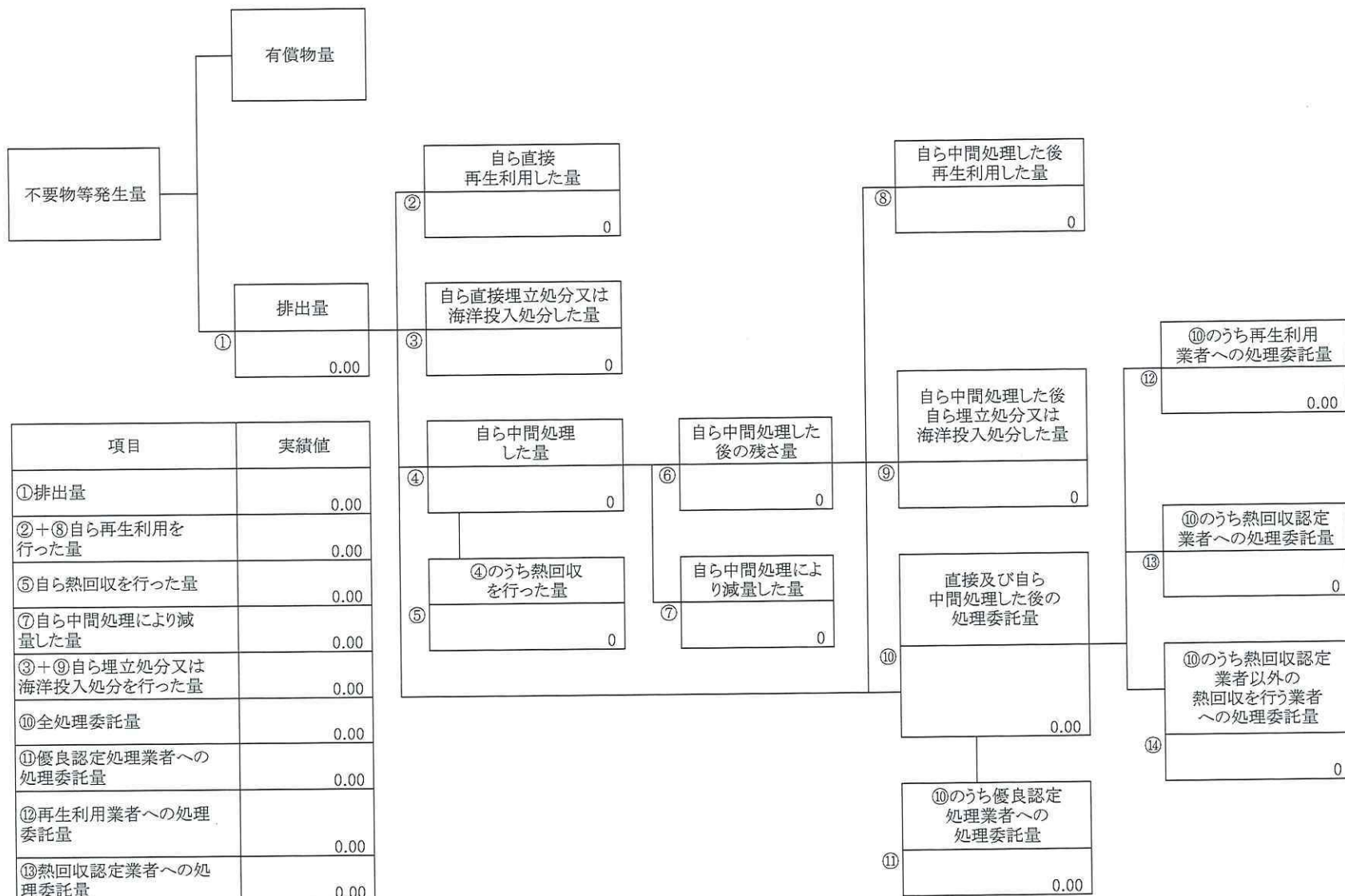


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃蛍光灯(水銀使用製品))



2



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。

産 業 廃 棄 物 処 理 計 画 実 施 状 況 報 告 書 の 〔 集 計 用 シ ー ト 〕

提 出 者						
住 所	名 称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
各行政庁の所管区域内の作業所(現場)を総括的に管理する支店等の住所	各行政庁の所管区域内の作業所(現場)を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
大阪市西淀川区大和田1-2-7	小倉商事株式会社					

産業廃棄物の種類		計 画 の 実 施 状 況															②+⑧	③+⑨		
		①排出量 (t)	②自ら直接 再生利用した量 (t)	③自己直接埋立 処分又は海洋投 入処分した量(t)	④自ら中間処理した量 (t)	⑤ ④のうち 熱回収を行った量 (t)	⑥自ら中間処理 した後の残さ量 (t)	⑦自ら中間処理 により減量した量 (t)	⑧自ら中間処理 した後再生利用 した量 (t)	⑨自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は海 洋投入処分した量(t)	⑩直接及び自ら 自己処理した後の 処理委託量 (t)	(⑪＝ ①-②-③-④+⑥-⑧-⑨ ＝⑫+⑬+⑭+⑮+⑯)							②+⑧ 自ら再生利用 を行った量(t)	③+⑨ 自ら埋立処分又は海 洋投入処分を行った量(t)
コード	名 称	委 託 先 に よ る 区 分															⑪優良認定処理業者 への処理委託量(t)	②+⑧ 自ら再生利用 を行った量(t)	③+⑨ 自ら埋立処分又は海 洋投入処分を行った量(t)	
		⑫再生利用業者への 処理委託量(t)	⑬熱回収認定業者 への処理委託量(t)	⑭熱回収認定業者以外の 熱回収業者への処理委託量(t)	⑮その他の中間処理 委託量(t)	⑯埋立処分委託量(t)	⑪優良認定処理業者 への処理委託量(t)	②+⑧ 自ら再生利用 を行った量(t)	③+⑨ 自ら埋立処分又は海 洋投入処分を行った量(t)											
建設業の 備考	同右 半角	「建設工事等から発生する主な建設系廃棄物」の種類・コード参照	当該事業場において 生じた産業廃棄物の 種類ごとの量	①の量のうち、中間 処理をせず直接自ら 再生利用した量	①の量のうち、中間処理 をせず自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	①の量のうち、自ら中 間処理した産業廃棄物 の当該中間処理前の 量	④の量のうち熱 回収を行った量	自ら中間処理を 行った後の量	④の量から⑥の 量を差し引いた 量	⑥の量のうち、自ら 利用し、又は他人 に売却した量	⑥の量のうち、自ら埋 立処分及び海洋投入 処分した量	中間処理及び最終処分 を委託した量	⑪の量のうち、処理業者へ の再生利用委託量 (⑬、⑭ を除く)	⑪の量のうち、認定熱回 収施設設置者である処 理業者への焼却処理委 託量	⑪の量のうち、認定熱回 収施設設置者以外の 熱回収を行っている処理業者へ の熱回収を行った量	⑪の量のうち、委託して破 砕等の中間処理した量 (⑫～⑮を除く)	⑪の量のうち、直接 委託して埋立て最終 処分した量	⑪の量のうち、優良認 定処理業者への委託処 理量	②の量と⑧の量を合 計したもの(自動計 算)	③の量と⑨の量を合 計したもの(自動計 算)
	800	木くず	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	0	0	0.00	0	0
	900	繊維くず	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	0	0	0.00	0	0
	1501	コンクリートがら	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	0	0	0.00	0	0
	1502	アスファルトコンクリートがら	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	0	0	0.00	0	0
	2020	建設混合廃棄物(管理型含む)	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	0	0	0.00	0	0
	2440	がれき類(石綿含有)	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	0	0	0.00	0	0
	2522	廃蛍光灯(水銀使用製品)	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0	0	0	0.00	0	0
	7421	廃石綿(飛散性)	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0	0	0	0.00	0	0
												0.00	0.00	0.00	0	0	0	0.00	0	0
																	</			

(注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。
(注2)上記の産業廃棄物の種類以外の排出実績があった場合は、必要に応じ、直接追加入力するとともに、第2面も追加してください。